

2.2.6 販売店を選んでいる理由と販売店に望む点

(1) 現在の販売店の選択理由

販売店を現在選んでいる理由は、「品揃えが豊富である」、「自宅や勤務先から近い」、「価格が安い」などの項目が多くいずれも回答者の45%を超えている（図2-25）。年齢性別ごとに見ると、60歳以上になると「気軽に質問・相談ができる」の割合が高くなる（表2-2）。

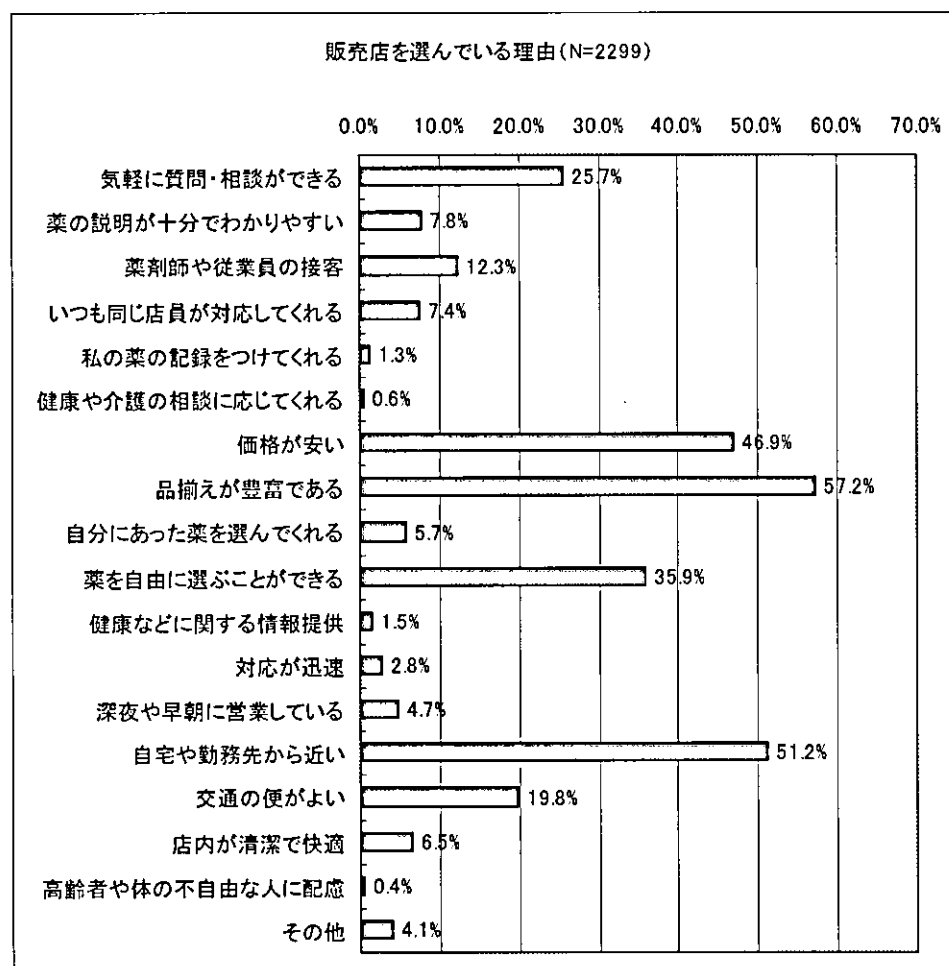


図 2-25 販売店を選んでいる理由

表 2-2 男女別年齢層別選択理由

1位	2位	3位	4位	5位
----	----	----	----	----

	20歳代 男性	20歳代 女性	30歳代 男性	30歳代 女性	40歳代男 性	40歳代 女性	50歳代 男性	50歳代 女性	60歳以 上男性	60歳以 上女性	男性全 体	女性全 体	全体
人数	194	222	245	279	231	249	264	271	346	409	1280	1430	2710
気軽に質問・相談が できる	14.5%	14.4%	21.0%	19.2%	16.0%	22.6%	25.3%	27.5%	36.9%	40.6%	24.4%	26.8%	25.7%
薬の説明が十分で わかりやすい	6.6%	7.2%	7.0%	2.1%	6.4%	6.0%	9.3%	6.9%	11.9%	10.8%	8.6%	7.0%	7.8%
店員の接客対応	14.5%	6.7%	8.9%	9.8%	10.2%	10.6%	13.8%	15.0%	12.9%	17.0%	12.1%	12.5%	12.3%
いつも同じ店員が 対応してくれる	6.6%	4.6%	2.3%	3.8%	10.2%	6.5%	7.1%	7.3%	10.8%	11.4%	7.6%	7.3%	7.4%
薬の記録を付けて くれる	1.2%	0.0%	2.3%	0.4%	0.5%	1.5%	1.3%	1.3%	2.4%	1.7%	1.7%	1.1%	1.3%
健康や介護の相談	1.2%	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	0.7%	1.1%	0.6%	0.6%	0.6%
価格が安い	51.2%	51.5%	59.8%	44.0%	56.7%	50.8%	48.4%	42.9%	37.3%	38.9%	49.5%	44.6%	46.9%
品揃えが豊富	62.0%	54.1%	63.1%	62.0%	68.4%	62.8%	60.0%	54.5%	51.5%	45.7%	60.1%	54.7%	57.2%
自分にあった薬を 選んでくれる	3.6%	4.1%	2.3%	3.0%	4.3%	5.0%	4.9%	8.2%	7.5%	10.2%	4.8%	6.6%	5.7%
薬を自由に選べる	28.9%	36.6%	33.2%	41.5%	38.5%	44.2%	36.0%	41.2%	30.8%	31.3%	33.4%	38.1%	35.9%
健康等に関する情 報提供	1.2%	2.6%	0.9%	0.9%	2.7%	0.0%	0.9%	2.1%	2.7%	0.9%	1.7%	1.2%	1.5%
対応が迅速	3.0%	1.0%	2.8%	0.4%	2.7%	2.0%	2.2%	2.1%	5.8%	4.0%	3.5%	2.1%	2.8%
深夜や早朝に営業	4.2%	4.6%	7.0%	2.6%	9.6%	6.0%	4.9%	3.0%	3.4%	3.4%	5.6%	3.8%	4.7%
自宅や勤務先から 近い	60.2%	61.9%	54.2%	60.3%	46.5%	46.7%	52.4%	49.4%	44.1%	44.3%	50.7%	51.6%	51.2%
交通の便	21.7%	17.0%	19.2%	27.8%	24.6%	22.6%	22.2%	18.9%	14.9%	14.5%	20.0%	19.6%	19.8%
店内が清潔で快適	7.8%	9.8%	6.1%	8.1%	7.0%	7.0%	5.8%	5.6%	5.4%	4.8%	6.3%	6.8%	6.5%
高齢者や体の不 由な人に配慮	0.0%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.0%	0.9%	0.4%	0.5%	0.4%
その他	3.6%	6.2%	2.3%	4.7%	5.9%	3.0%	3.1%	4.7%	4.1%	4.0%	3.8%	4.5%	4.1%

(2) 医薬品販売店が備えているべき点

医薬品販売店が備えているべき点は「気軽に質問・相談ができる」、「薬の説明が十分でわかりやすい」を選択する回答が多く、いずれも40%を超える回答者が選択している(図2-26)。男女別年齢層別に見ると「気軽に質問・相談できる」は全ての世代において男性よりも女性のほうが高い割合を示している。また、(1)の選択理由の上位につけていた「自宅や勤務先から近い」はいずれの層においても上位5位以内には入っていない(表2-3)。

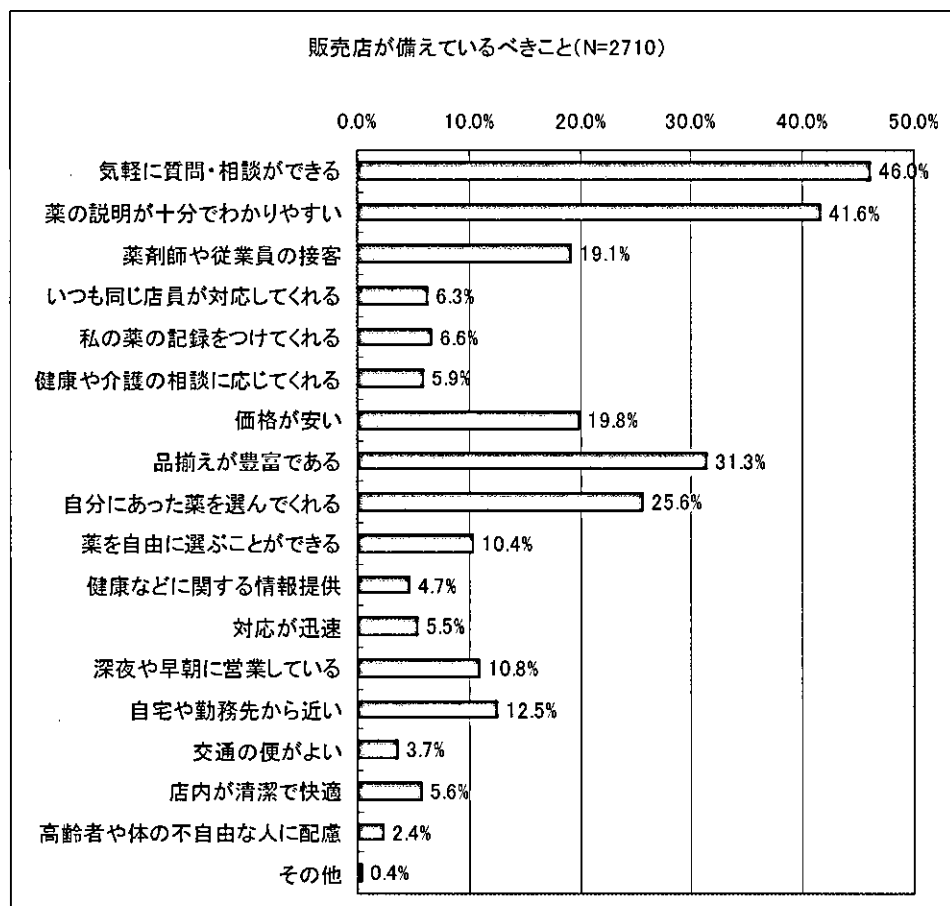


図 2-26 販売店が備えているべき点

表 2-3 男女別年齢層別販売店が備えているべき点

1位	2位	3位	4位	5位
----	----	----	----	----

	20歳代 男性	20歳代 女性	30歳代 男性	30歳代 女性	40歳代 男性	40歳代 女性	50歳代 男性	50歳代 女性	60歳以 上男性	60歳以 上女性	男性全 体	女性全 体	全体
人数	194	222	245	279	231	249	264	271	346	409	1280	1430	2710
気軽に質問・相談ができる	42.2%	48.5%	45.3%	58.5%	48.1%	58.8%	51.6%	57.5%	56.6%	63.9%	49.7%	58.3%	54.2%
薬の説明が十分でわかりやすい	51.2%	49.0%	43.5%	50.4%	41.7%	47.7%	50.2%	57.5%	49.2%	48.6%	47.3%	50.6%	49.0%
店員の接客対応	18.1%	25.3%	25.7%	28.2%	20.3%	28.1%	18.7%	17.2%	21.4%	22.4%	21.0%	23.9%	22.5%
いつも同じ店員が対応してくれる	6.6%	4.6%	5.1%	4.7%	5.3%	6.5%	5.3%	6.0%	12.2%	12.5%	7.4%	7.5%	7.4%
薬の記録を付けてくれる	10.8%	6.7%	8.4%	3.8%	7.0%	7.5%	5.8%	6.4%	10.5%	9.7%	8.6%	7.1%	7.8%
健康や介護の相談	6.0%	3.6%	5.1%	4.3%	7.5%	5.5%	5.8%	11.2%	8.5%	9.4%	6.7%	7.2%	7.0%
価格が安い	25.3%	24.7%	30.4%	25.6%	31.6%	16.1%	24.4%	17.6%	22.4%	19.6%	26.4%	20.6%	23.4%
品揃えが豊富	35.5%	39.7%	38.8%	27.8%	41.2%	42.7%	49.3%	35.2%	33.2%	31.8%	39.4%	34.7%	36.9%
自分にあった薬を選んでくれる	31.9%	34.0%	26.2%	38.5%	28.3%	29.6%	29.3%	30.5%	27.1%	28.4%	28.3%	31.8%	30.2%
薬を自由に選べる	10.2%	13.4%	15.0%	13.2%	17.6%	11.6%	14.7%	12.0%	12.5%	6.3%	14.0%	10.7%	12.3%
健康等に関する情報提供	5.4%	2.1%	6.1%	3.8%	7.0%	7.0%	6.2%	8.2%	3.4%	6.5%	5.4%	5.7%	5.6%
対応が迅速	7.2%	7.7%	7.9%	10.3%	4.3%	6.5%	4.4%	6.4%	5.4%	5.1%	5.8%	7.0%	6.4%
深夜や早朝に営業	16.9%	13.9%	19.2%	12.4%	14.4%	14.1%	15.1%	9.9%	8.1%	9.4%	14.2%	11.6%	12.8%
自宅や勤務先から近い	15.1%	13.4%	15.4%	13.2%	12.8%	13.1%	16.0%	10.7%	17.3%	17.6%	15.5%	14.0%	14.7%
交通の便	4.8%	4.6%	4.7%	2.6%	8.0%	4.0%	5.3%	3.4%	3.4%	3.7%	5.1%	3.6%	4.3%
店内が清潔で快適	7.8%	10.8%	7.5%	5.6%	5.9%	4.5%	5.8%	6.4%	6.1%	6.8%	6.5%	6.8%	6.7%
高齢者や体の不自由な人に配慮	2.4%	2.6%	2.3%	2.1%	1.6%	3.0%	0.4%	3.4%	4.1%	4.3%	2.3%	3.2%	2.8%
その他	0.0%	1.0%	0.9%	0.9%	1.1%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.6%	0.5%	0.6%	0.5%

2.2.7 配置薬の利用について

(1) 配置薬の配置と使用状況

配置薬が家にあるのは全体の3分の1弱であり、さらに利用している家庭は全体の5分の1弱である (図 2-27)。

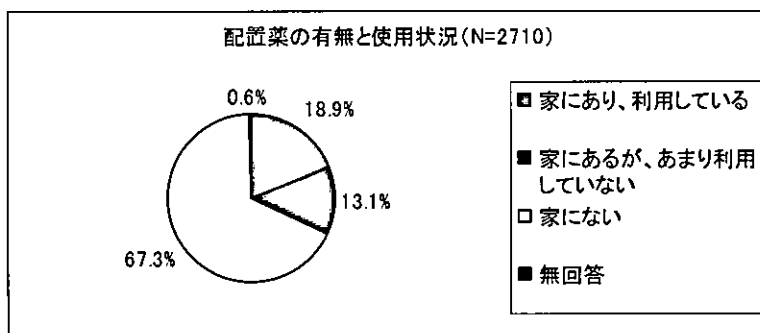


図 2-27 配置薬の有無と使用状況

(2) 配置員の訪問頻度

配置薬が家にある場合 (869 件、以下 2.2.7 について同様) のうちで、配置員の訪問頻度は年に2回から4回程度が多くあわせて約6割を占める (図 2-28)。

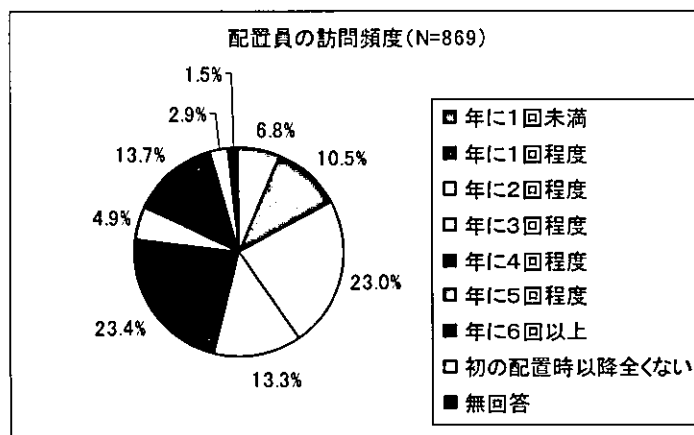


図 2-28 配置員の訪問頻度

(3) 配置員の説明の頻度

配置員の訪問時に、医薬品に関して必ず説明があるのは22.9%であり、説明を受けたことはほとんど(全く)ないと回答した数もほぼ同数見られた(図2-28)。

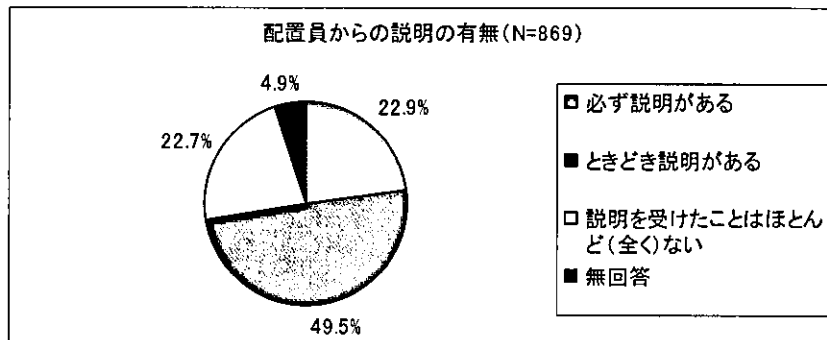


図 2-28 配置員からの説明の有無

(4) どのような時に説明があるか

ときどき説明がある場合、製品により異なると回答した件数が最も多く、回答者の72.1%であった(図2-29)。

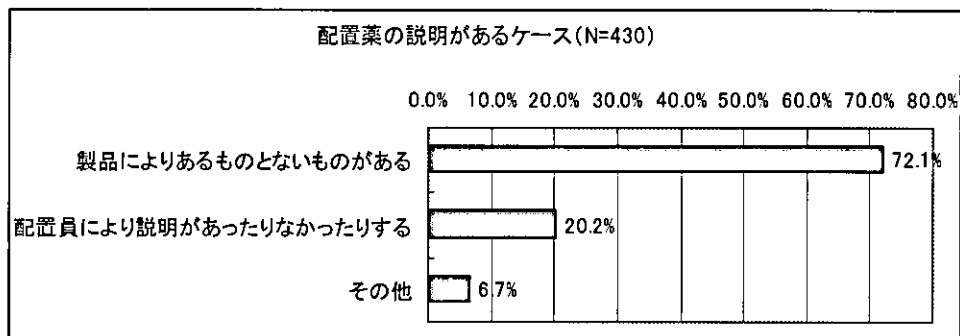


図 2-29 配置薬について説明があるケース

2.2.8 医薬品に関する説明や注意について

(1) 説明を希望する条件

市販薬を買う際に説明を「必ず受けたい」と回答した件数は全体の 15.8%であり、「店のほうで注意が必要だと考えるものについては受けたい」と回答した件数と合わせ全体の 58.0%は説明の必要性を販売する側に委ねている。一方で「こちらが希望する場合にのみ受けたい」と回答した件数は全体の 38.4%であった（図 2-30）。

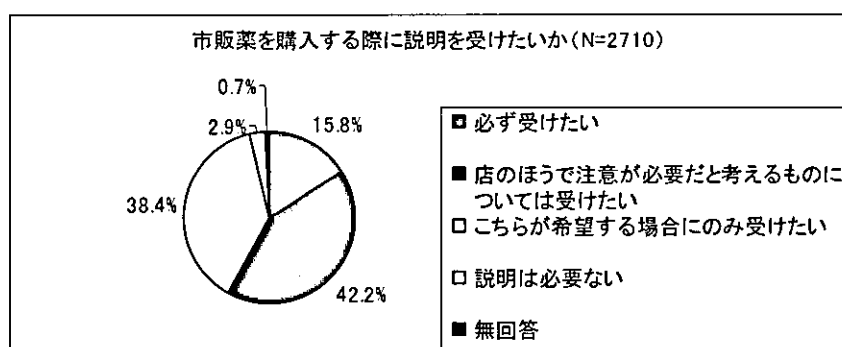


図 2-30 市販薬を購入する際の説明希望

(2) 必ず説明を希望する場合の理由

(1)で「必ず受けたい」と回答した理由としては、「医薬品は危険性があるから」という理由が最も多かった(回答者の 66.1%)（図 2-31）。

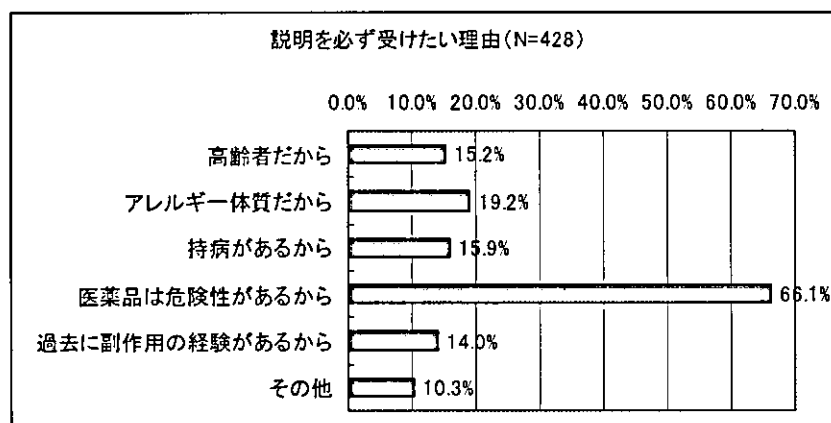


図 2-31 説明を必ず受けたい理由

(3) どのような時説明を希望するか

(1)で「希望する場合にのみ受けてほしい」と回答した回答者は、その製品を初めて買う場合(回答者の75.9%)や他の薬を飲んでいる場合(58.0%)、家族のために買う場合(42.8%)などの時に説明を希望することが多い(図2-32)。

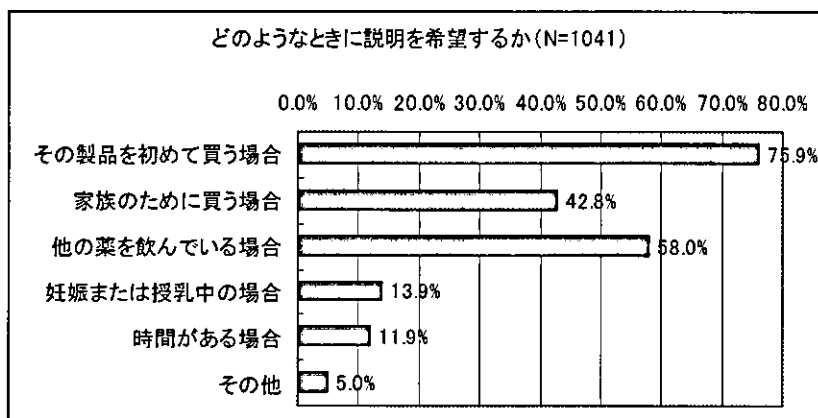


図 2-32 どのようなときに説明を希望するか

(4) 説明を希望する内容

医薬品について説明を受けたい点としては、「効能・効果について」や「副作用について」、「他の薬との併用に付いての注意」についての希望が高く、いずれも回答者のほぼ3分の2以上が希望していた(図2-33)。

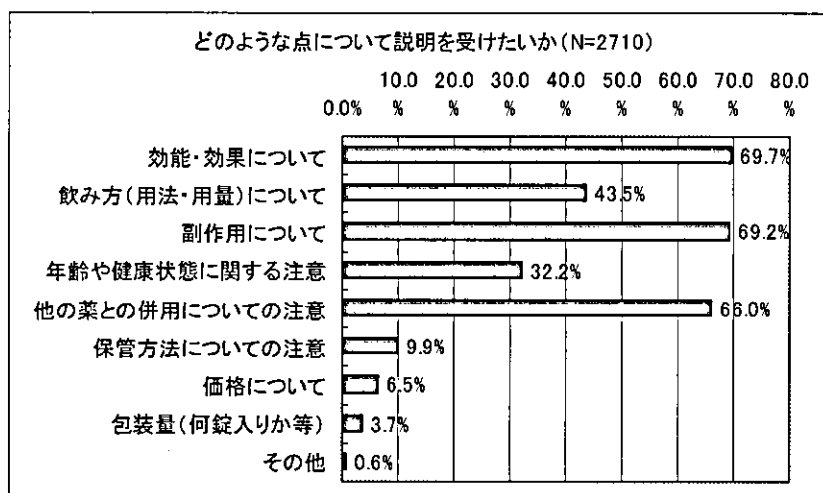


図 2-33 どのような点について説明を受けたいか

(5) 副作用等の疑いがある場合の相談先

使用した市販の医薬品で副作用が疑われる場合や、効能・効果に疑問があり自分や家族で判断に困った時の相談相手としては、「医師」(回答者の 41.4%)や「購入した販売店」(22.5%)などが多い (図 2-34)。

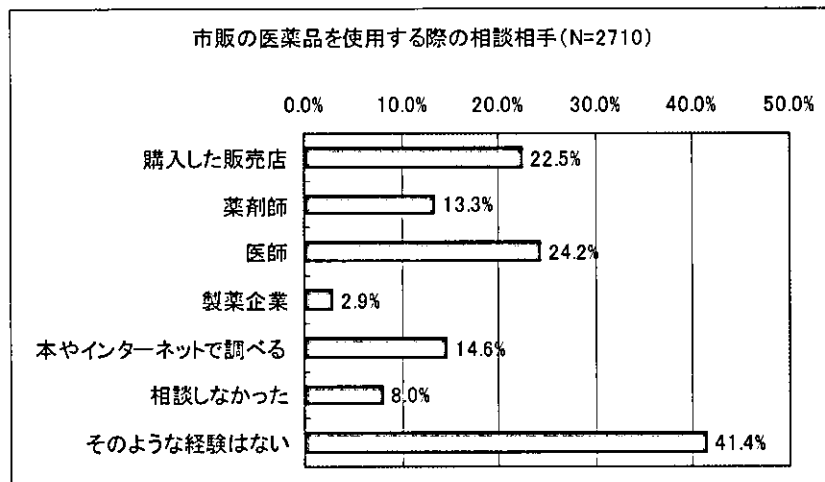


図 2-34 市販の医薬品を使用する際の相談相手

2.2.9 外箱・添付文書について

(1) 外箱の注意事項

医薬品を買う前に、外箱に書かれている注意事項をいつも読むとする割合は全体の 46.4%であった。一方、ほとんど(全く)読まない人は 4.1%に過ぎなかった (図 2-35)。

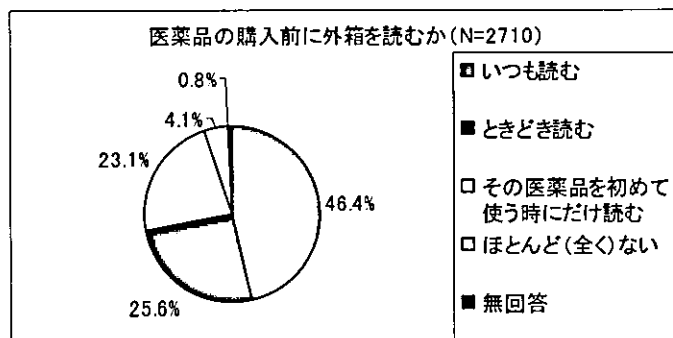


図 2-35 医薬品の購入前に外箱を読むか

(2) 添付文書

医薬品を使用する前に薬に添付されている文書をいつも読む割合は全体の 35.8%と外箱の注意事項と比べ低く、ほとんど(全く)読まない割合が外箱の注意事項に比べ 2 倍の 8.1%みられる。(図 2-36)。

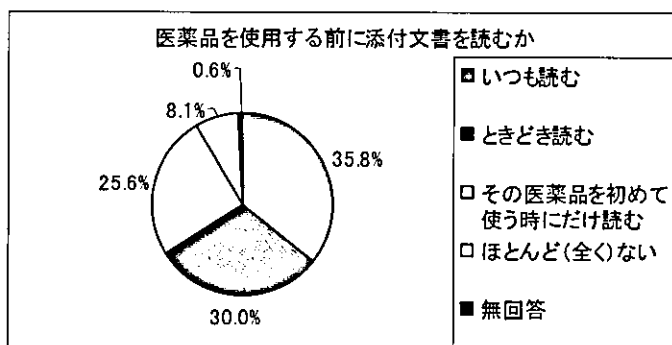


図 2-36 医薬品を使用する前に添付文書を読むか

(3) 添付文書の副作用に関する記述

添付文書の副作用に関する記述については、ほとんど(全く)読まないとする比率が 11.0% と添付文書全般と比較して更に高くなる (図 2-37)。

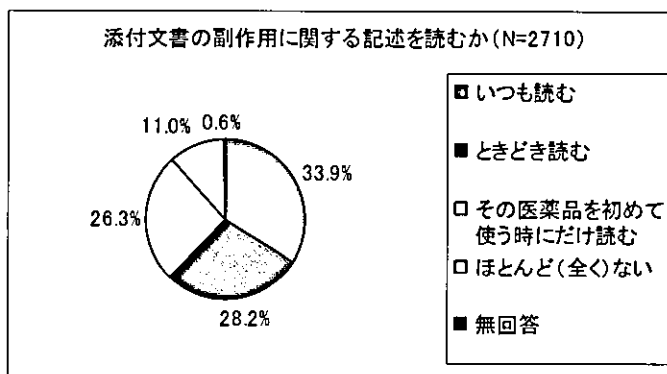


図 2-37 添付文書の副作用に関する記述を読むか

(4) 効能・効果に関する記述

医薬品を使用する前に外箱又は薬に添付されている文書の効能・効果に関する記述を読む割合は全体の 5 割程度に達しほとんど(全く)読まないとする比率は 3%と低い(図 2-38)。

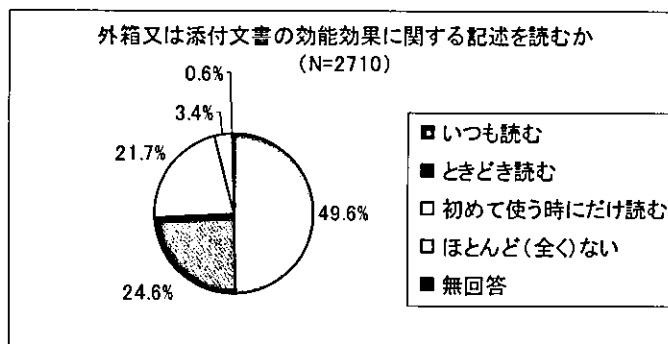


図 2-38 外箱又は添付文書の効能効果に関する記述を読むか

(5) 用法・用量に関する記述

医薬品を使用する前に外箱又は薬に添付されている文書の用法・用量に関する記述を読む割合は全体の 59.1%に達し最も高い (図 2-39)。

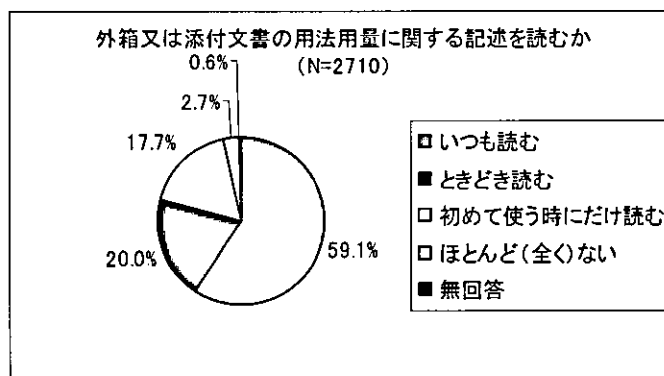


図 2-39 外箱または添付文書の用法用量に関する記述を読むか

2.2.10 使用上の注意事項に関する知識

妊娠や授乳などの質問に対して「知っていた」と回答した割合と比べて、副作用や相互作用に関する質問に対して「知っていた」と回答した割合は低く、特にアレルギーの関連性に関する質問では全体の 34.0%が「知らなかった」と回答している(図 2-40)。

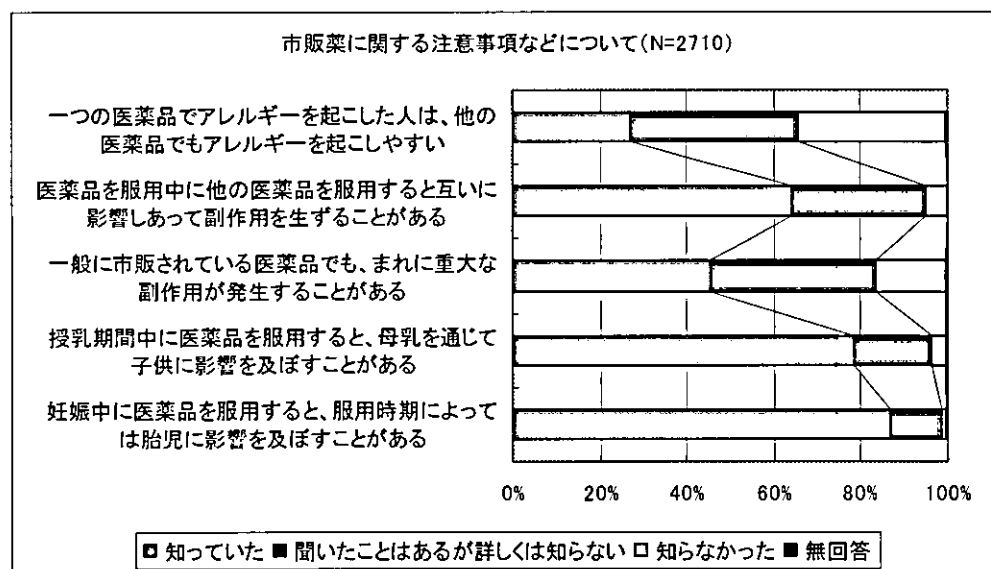


図 2-40 市販薬に関する注意事項などについて

2.3. アンケート結果の分析

以下では消費者の認識や注意度と購入行動等の関係について更に詳細に分析することにする。

2.3.1 市販薬に対する注意事項に関する知識の状況の分析

図 2-41は医薬品に関して、どの程度注意を払うべき危険性についての知識があるかをとらえる設問の回答である。こうした質問に対して、知らなかったと回答した層は、リスクに対する知識が低いまま医薬品を使用している可能性があり、医薬品使用に際してのハイリスクグループに属すると想定される。

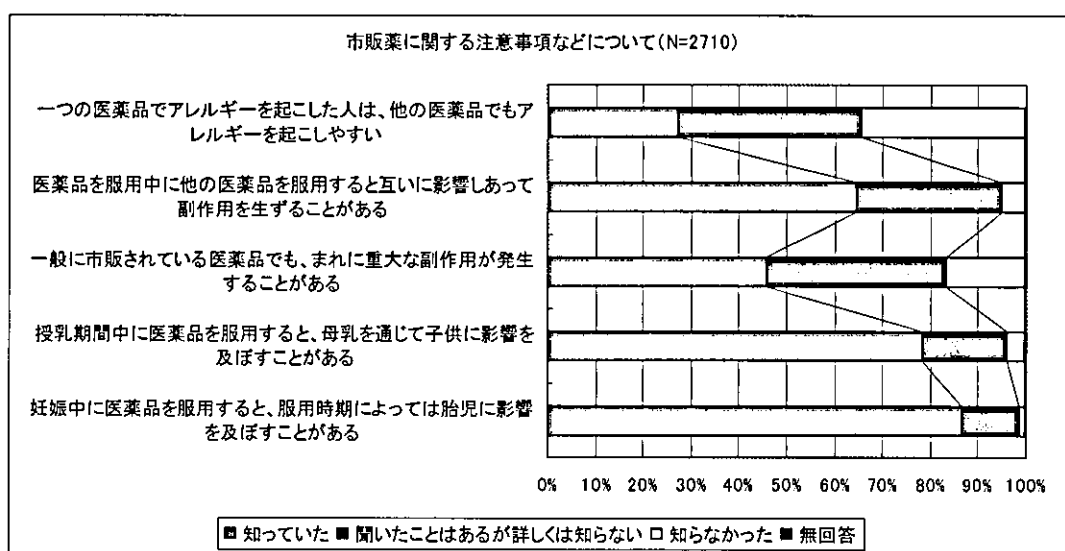


図 2-41 市販薬に関する注意事項などについて (再掲)

図 2-42は知っていたとする率が低かった 3 つの質問項目について、知らなかったとする回答者の関係を図示したものであるが、2 つ以上の項目で知らなかったとする回答者が 350 人(12.9%)、3 項目全てについて知らなかったと答えている回答者が 65 人(2.4%)見られる。

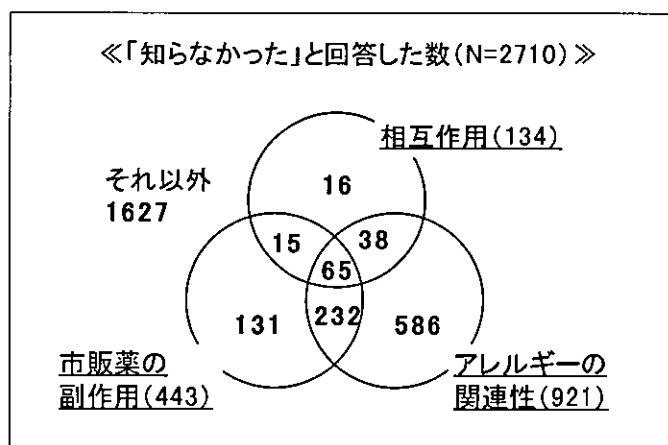


図 2-42 医薬品に対する注意事項について知らなかったと回答した数

これら 3 つの質問に「知っていた」、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」、「知らなかった」と回答した人が他の設問にどう回答しているかを比較した。

その結果、医薬品に対する注意事項についての知識について以下のような点がとらえられる。

- ・ 回答したグループの中の男性の割合は、市販薬の副作用と相互作用に関する 2 つの質問で「知らなかった」、「聞いてことはあるが詳しくは知らなかった」、「知っていた」の順で高く、また 20 歳代の比率も高い (図 2-43~図 2-48)。

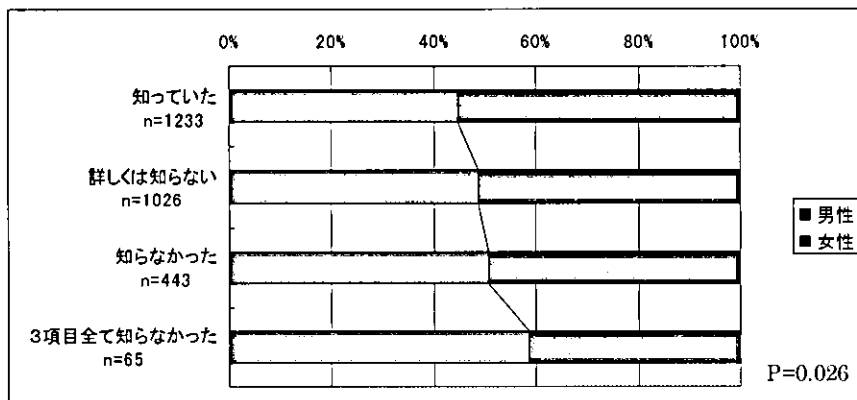


図 2-43 市販薬の副作用についての知識と性別との関係¹

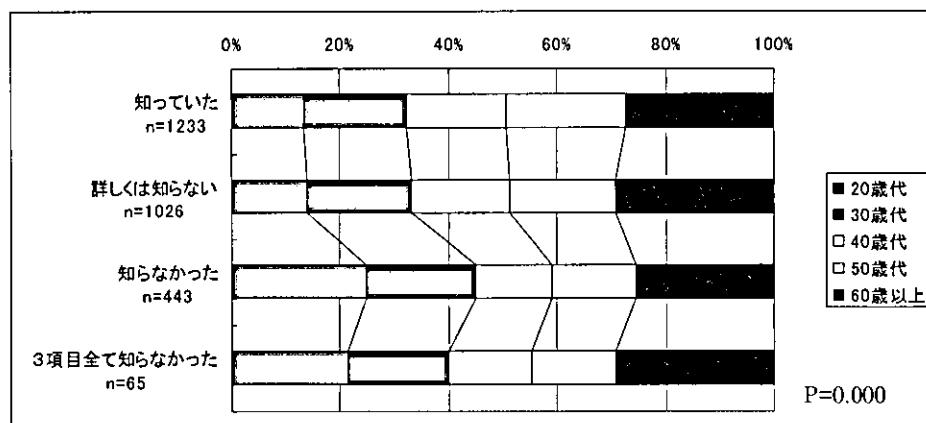


図 2-44 市販薬の副作用についての知識と年齢層との関係

¹ 図中の P はカイ二乗検定の有意確率 (上側確率)。以下の図において同様。

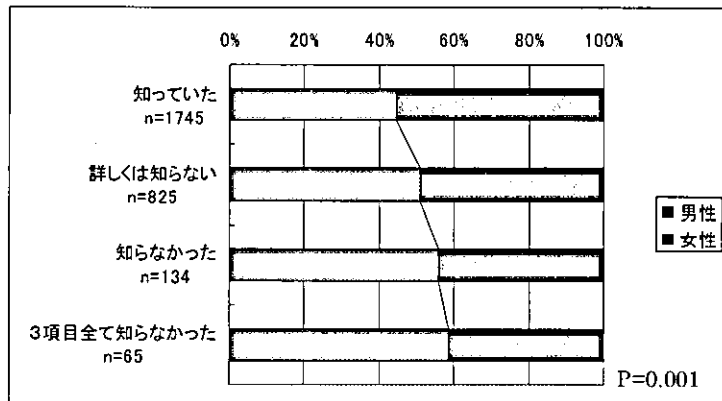


図 2-45 市販薬の相互作用についての知識と性別との関係

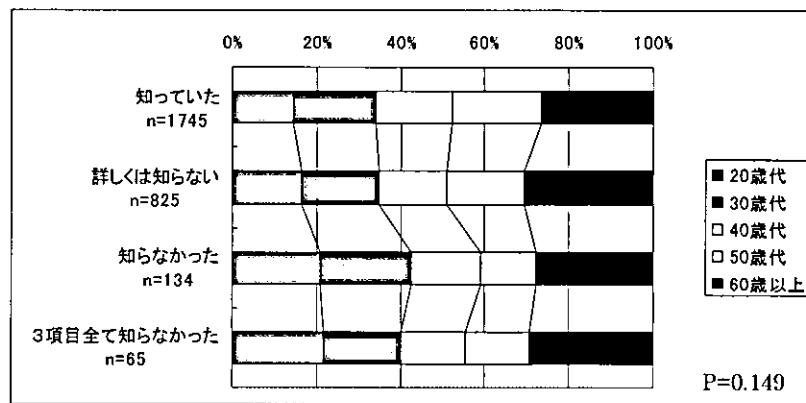


図 2-46 市販薬の相互作用についての知識と年齢層との関係

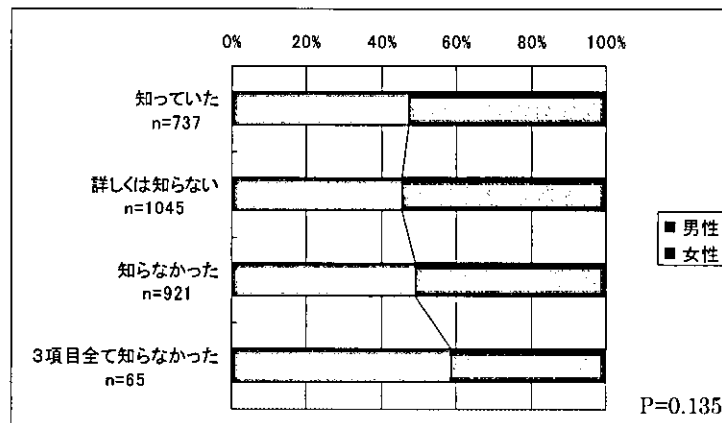


図 2-47 アレルギーの関連性についての知識と性別との関係

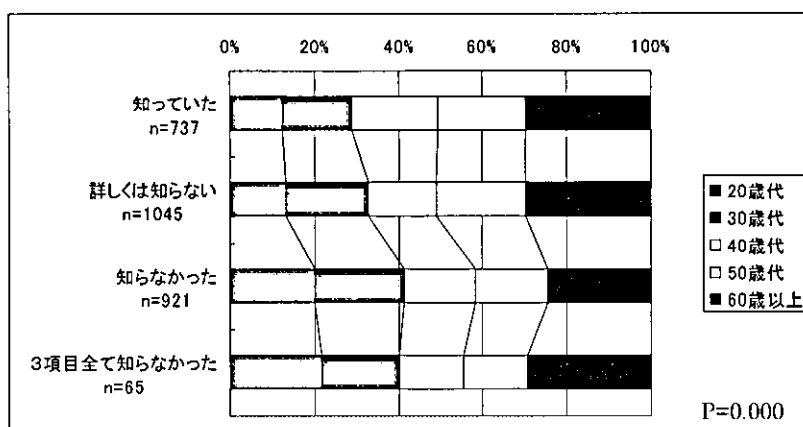


図 2-48 アレルギーマシ関係性についての知識と年齢層との関係

- ・ 回答したグループの中の本人または身の回りで副作用の経験がある人の比率は、「知っていた」、「聞いてことはあるが詳しくは知らなかった」、「知らなかった」の順で高い (図 2-49～図 2-51)。

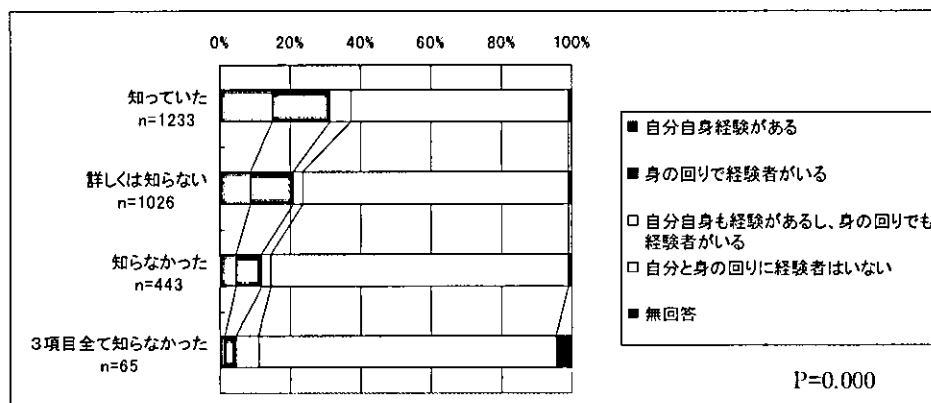


図 2-49 市販薬の副作用についての知識と副作用の経験の関係

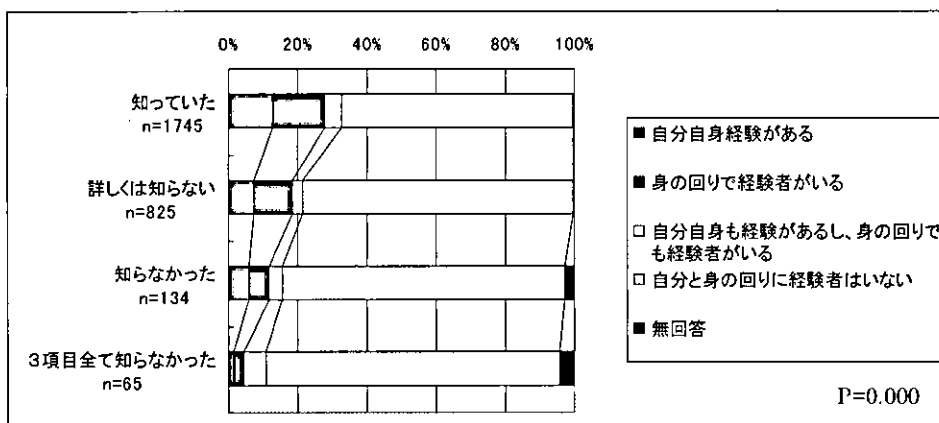


図 2-50 市販薬の相互作用についての知識と副作用の経験の関係

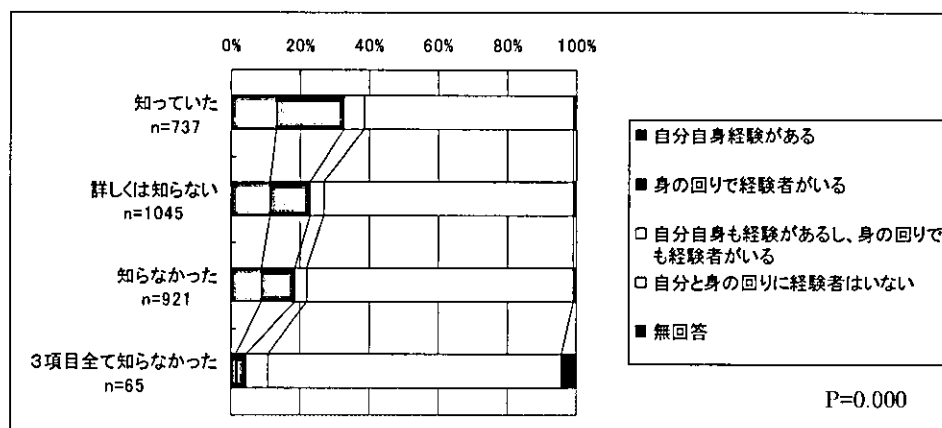


図 2-51 アレルギーの関連性についての知識と副作用の経験の関係

- 回答したグループの中の市販薬が医師の処方する医薬品に比べてリスクが少ないと思っている人の割合は、市販薬の副作用について「知らなかった」、「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、「知っていた」の順で高く（図 2-52）、また、市販薬でもリスクがあると思っている人は、3つの質問全てについて、「知っていた」、「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、「知らなかった」の順で高い（図 2-52～図 2-54）。

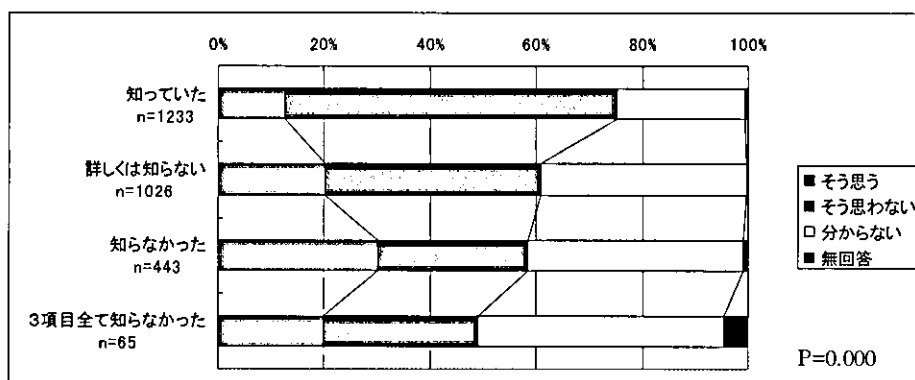


図 2-52 市販薬の副作用についての知識と市販薬に対する認識（医師の処方する医薬品と比べ危険がないと思う）との関係

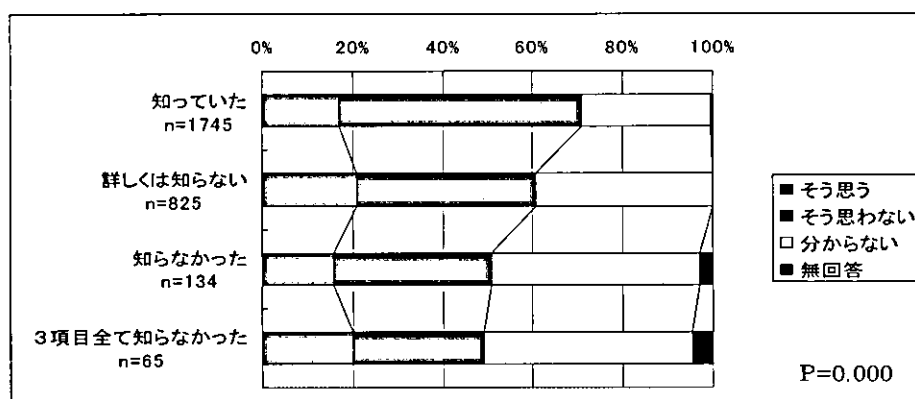


図 2-53 市販薬の相互作用についての知識と市販薬に対する認識 (医師の処方する医薬品と比べ危険がないと思う) との関係

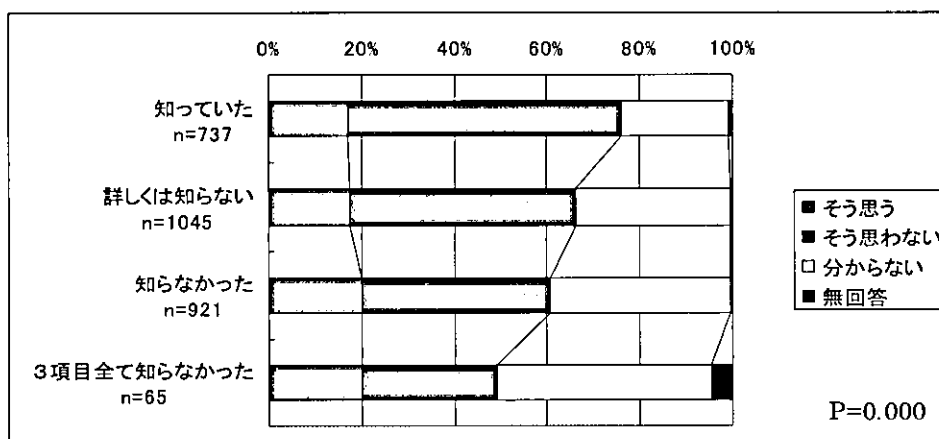


図 2-54 アレルギーの関連性についての知識と市販薬に対する認識 (医師の処方する医薬品と比べ危険がないと思う) との関係

- 回答したグループの中の購入時の説明を希望する人、外箱・添付文書を読む人の割合は、3つの質問について「知らなかった」、「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、「知っていた」の順で低い (図 2-55~図 2-63)

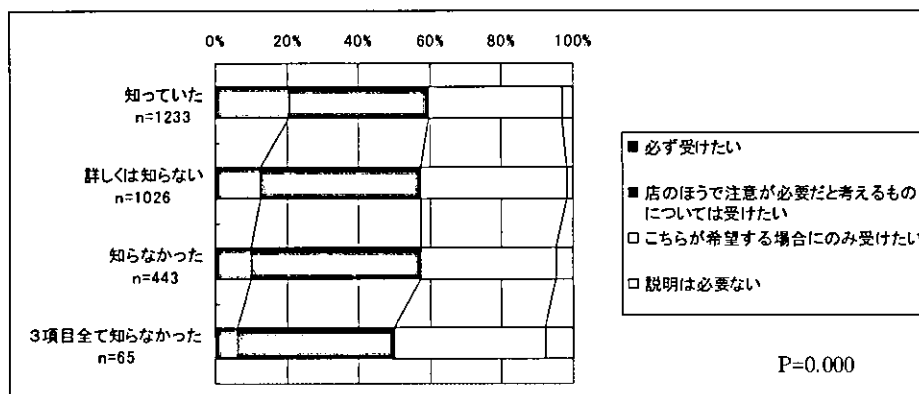


図 2-55 市販薬の副作用の知識と説明希望との関係

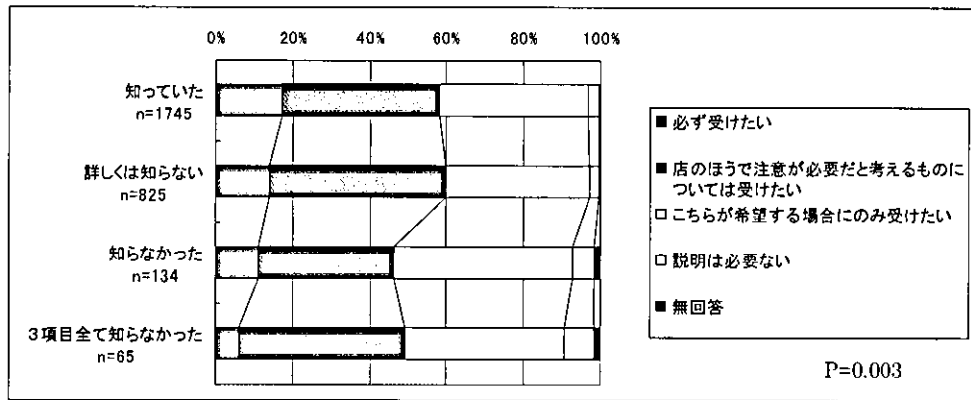


図 2-56 市販薬の相互作用の知識と説明希望との関係

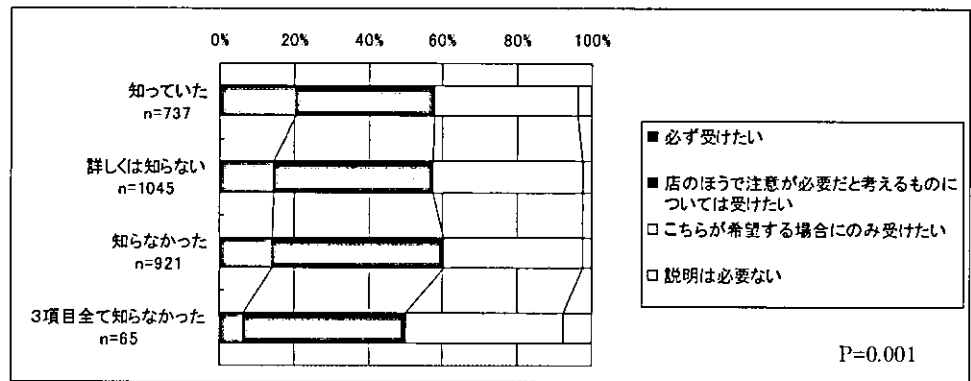


図 2-57 アレルギーの関連性の知識と説明希望との関係

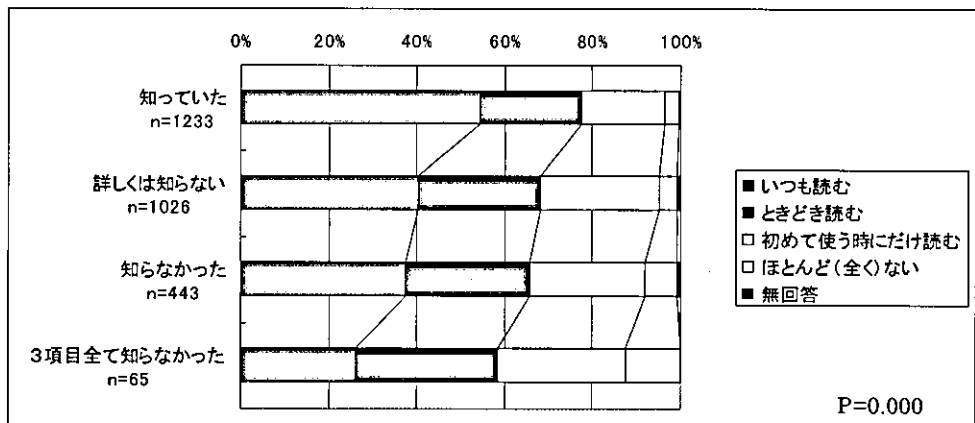


図 2-58 市販薬の副作用の知識と外箱を読む頻度の関係

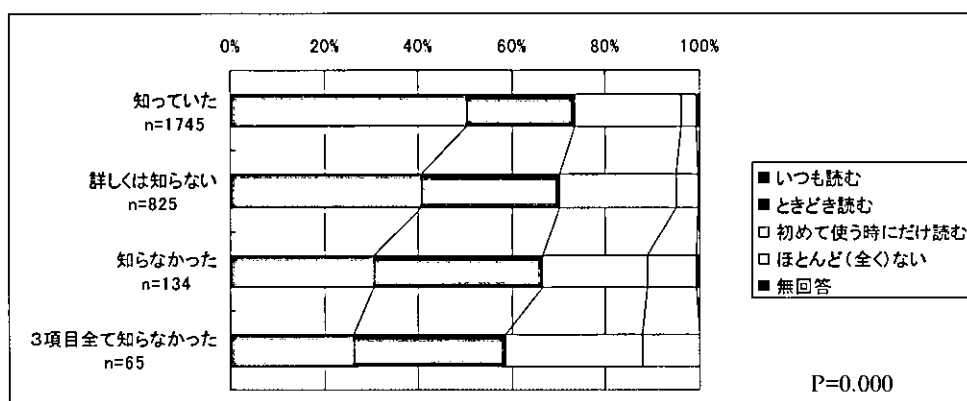


図 2-59 市販薬の相互作用の知識と外箱を読む頻度の関係

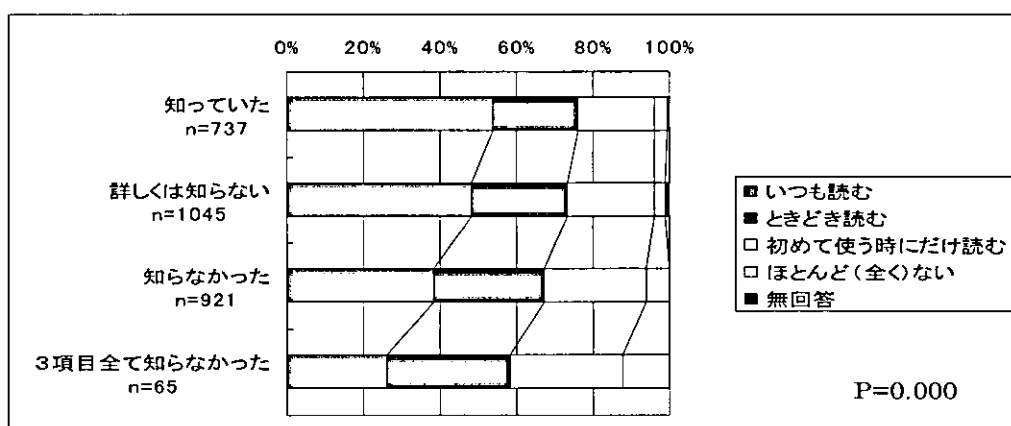


図 2-60 アレルギーの関連性の知識と外箱を読む頻度の関係

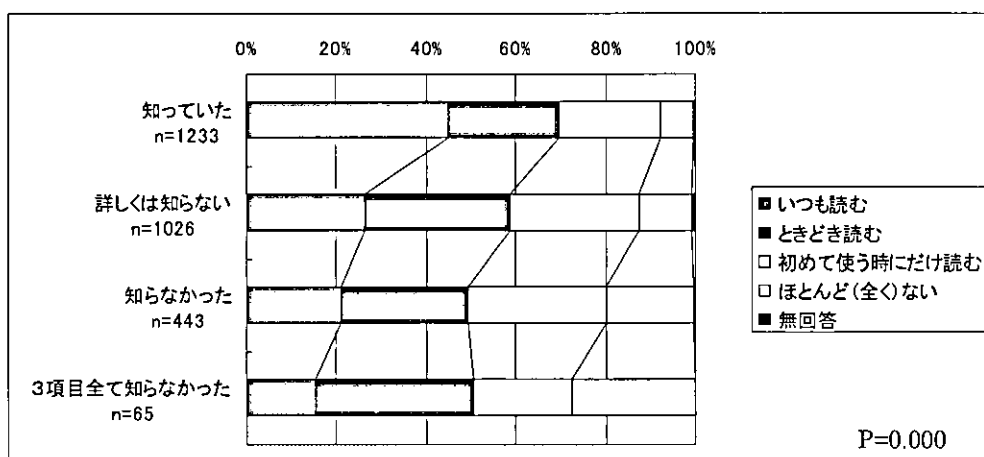


図 2-61 市販薬の副作用の知識と添付文書の副作用についての記述を読む頻度の関係

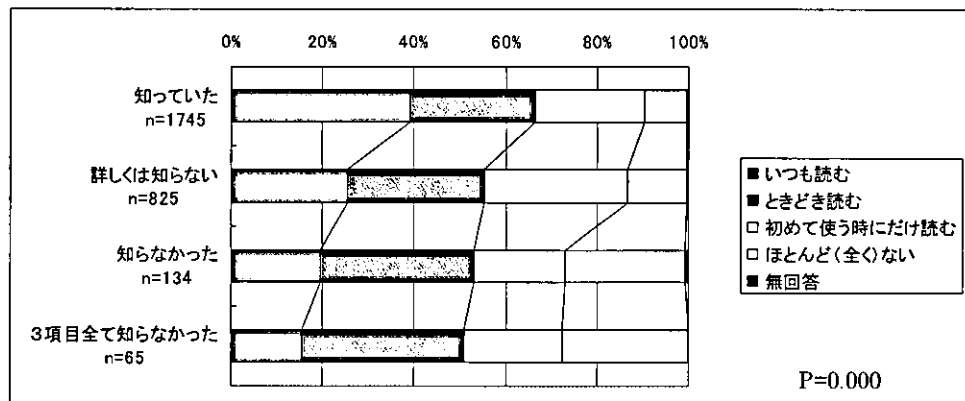


図 2-62 市販薬の相互作用の知識と添付文書の副作用についての記述を読む頻度の関係

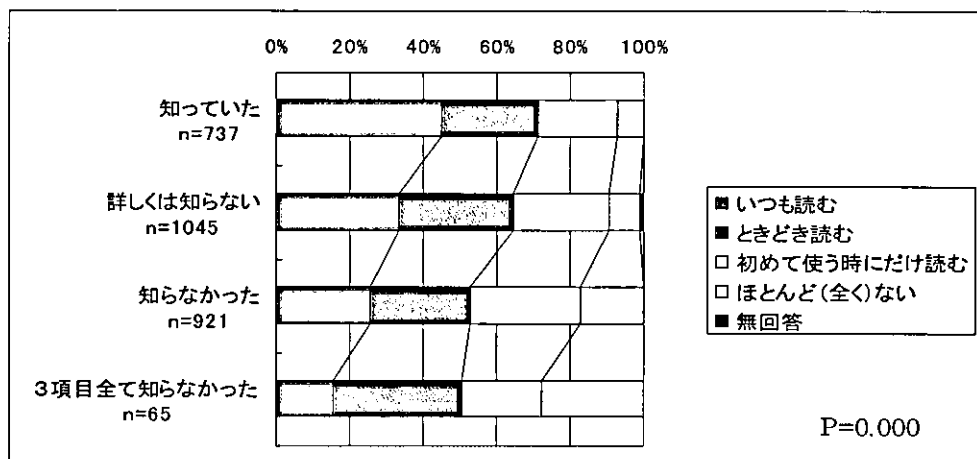


図 2-63 アレルギーの関連性の知識と添付文書の副作用についての記述を読む頻度の関係

2.3.2 市販薬の選択方法別の分析

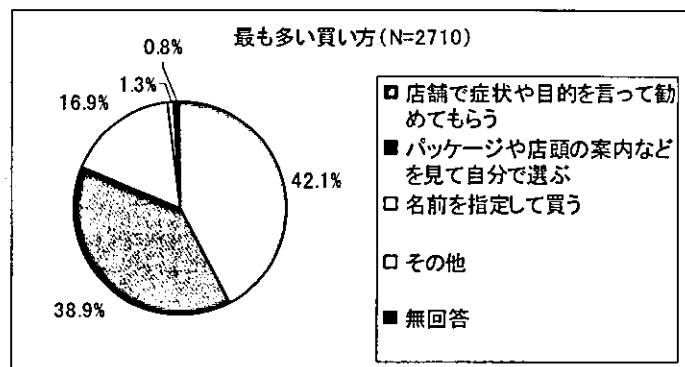


図 2-64 市販薬全般の主な買い方 (再掲)

市販薬を購入する場合の選択方法 (図 2-64) と他の設問の回答との関係を見てみた結果、医薬品に対する市販薬の選択方法について以下のような点がとらえられる。